

港区西部地域学校再編整備計画案について



～多様な仲間と育つ、学び合う環境をめざして～



令和5年11月21日・11月30日 港区学校再編に向けた説明会

大阪市港区役所 協働まちづくり推進課
大阪市教育委員会事務局

もくじ



- 1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4ページ
- 2 港区における中学校の現状と課題及び再編案について・・・・ 5～11ページ
- 3 港区における小学校の現状と課題及び再編案について・・・12～17ページ
- 4 説明会等でいただいたご質問・ご意見に対する回答・・・・ 18～38ページ
- 5 港区西部地域学校再編整備計画案について・・・・・・ 39～42ページ
- 6【参考】通学路(案)及び児童生徒数の今後の推移等・・・・ 43～53ページ

1 はじめに 1/2



- 大阪市全体、そして港区では少子化が続いており、「1学年1学級」の小規模校が課題となっています。
- 大阪市では、令和2年4月に「大阪市立学校活性化条例」を改正施行し、あわせて「大阪市立小学校の適正規模の確保に関する規則」を制定しました。
- 本条例では、小学校の規模を適正規模である12学級から24学級にするよう努めること、また、適正規模を下回り、今後も適正規模になる見込みがない小学校について、「学校再編整備計画」を策定・公表することとしています。
- 港区では、「港中学校区」「築港中学校区」に含まれる「八幡屋小・港晴小・池島小・築港小」のすべてが全学年単学級となり、また「築港中学校」も全学年単学級となっています。



3

1 はじめに 2/2



- 長年、港区の学校再編については課題となっておりましたが、議論が進まない中、ますます小規模化が進んだことから、港区役所では、令和3年度末より区政会議等での具体的な議論を開始し、令和4年度には教育委員会事務局との検討を重ねるとともに、学校・地域・保護者の方々との対話をスタートしました。
- これらの対話を経て、今年の夏休みには説明会を開催しました。
- 説明会では、中学校については、港中と築港中を統合する案、小学校については、八幡屋小・港晴小・池島小を統合する案などをお示ししました。

◆ 説明会の開催状況

第1回 令和5年7月26日(水)19時00分～ 港中学校 多目的室 参加者数 36名

第2回 令和5年8月1日(火)19時00分～ 築港中学校 多目的室 参加者数 110名

* 説明会の内容につきまして、港区ホームページで、YouTube動画及び説明資料を掲載しております。



- その後、保護者との意見交換会を8月21日（港晴小・築港小の6年生保護者を対象）、10月25日（八幡屋小・港晴小・池島小・築港小保護者を対象）に行うとともに、地域の方々との対話等も行っていました。
- 今回の説明会では、いただいたご意見等に対する見解や対応と、「港区西部地域学校再編整備計画案」の策定についてご説明します。

4

2 港区における 中学校の現状と課題及び再編案について



5

港区における中学校の現状



1. 港区全体の状況

港区内の大阪市立中学校の生徒数



港区内の大阪市立中学校の学校数



2. 港区・西部地域（港中・築港中）の状況

港区・西部地域の大阪市立中学校の生徒数



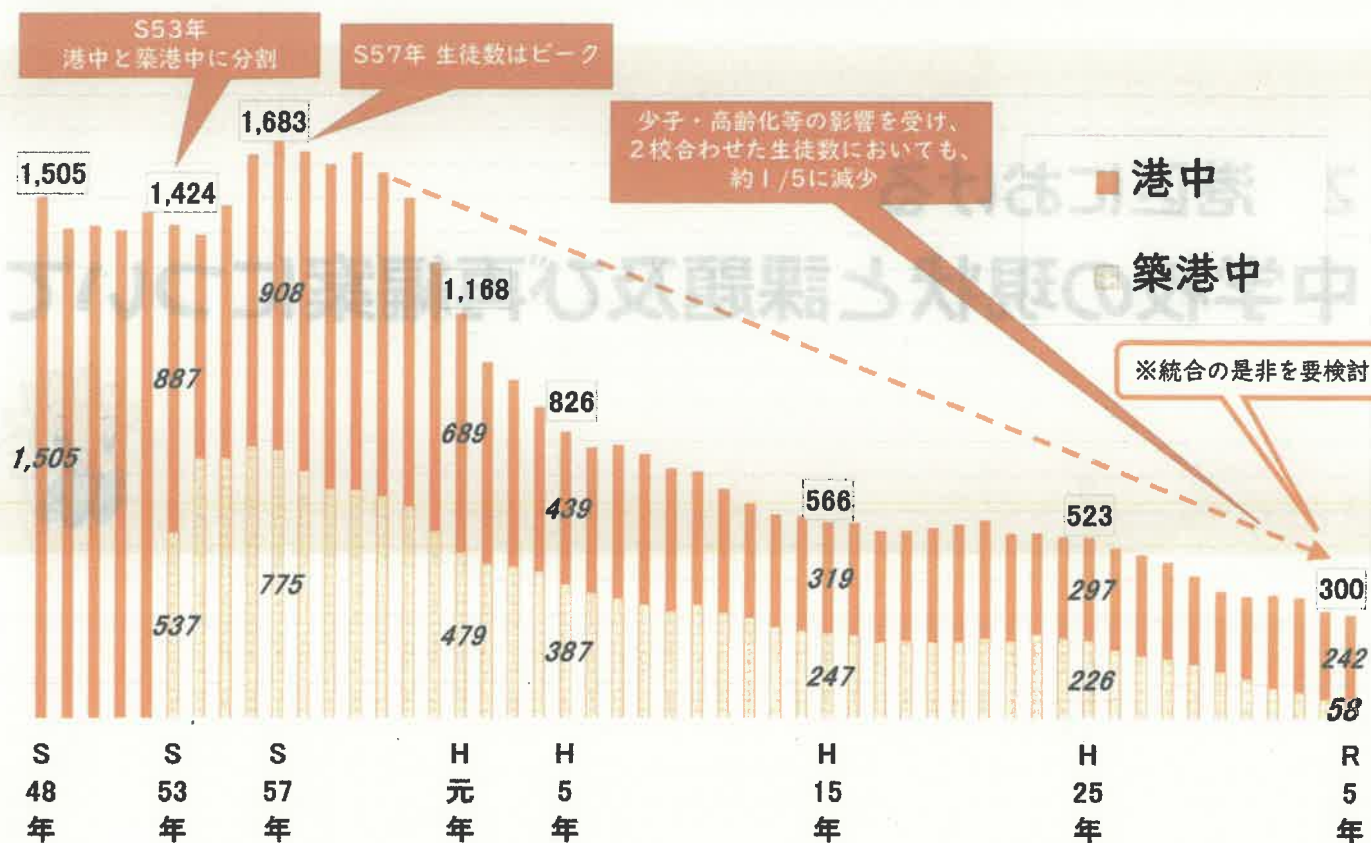
港区・西部地域の大阪市立中学校の学校数



- 西部地域は、港区全体よりも生徒数が減少しており、中学校の小規模化が進行しています。

6

港中学校・築港中学校の生徒数推移 (S48年～R5年)



7

港区内の中学校の学級数および生徒数



◆学級数 (1学級 = 40人)

<令和5年5月1日現在>

	市岡中	港南中	市岡東中	港中	築港中
3年生	5	4	3	2	1
2年生	5	4	3	2	1
1年生	4	4	3	3	1
計	14	12	9	7	3

築港中では、

- 全学年で単学級。
 - 生徒数の減少とともに、男女比にも偏りが生じている。
- ⇒ 集団活動等に課題。

◆生徒数

	市岡中			港南中			市岡東中			港中			築港中		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
3年生	193	99	94	141	64	77	110	46	64	73	42	31	22	14	8
2年生	193	99	94	153	72	81	110	55	55	80	39	41	15	11	4
1年生	154	73	81	139	67	72	117	75	42	89	47	42	21	14	7
計	540	271	269	433	203	230	337	176	161	242	128	114	58	39	19

● 港区内の中学校では、最も多い市岡中に対し、築港中は、約10分の1となっている。

8

中学校の教育環境整備の必要性



◎学校選択制を築港中学校区のみ停止しても解消しない

⇒港中学校が小規模化、または両校とも小規模化の可能性

◎学級数の減少に伴い、各教科の担当教員数が減少

⇒教員同士による指導方法の高め合い、授業の充実に課題

◎他校でできている活動ができないケースがある

⇒部活動や行事の縮小、予算不足による宿泊行事の課題



小規模校の良さである「一人ひとりに目が届く」環境を、学校再編による教職員の加配で維持しながら集団活動を可能とし、「こどもも教職員も学び合う」学校規模に再編整備する

9

中学校の統合案（港中・築港中）



1 使用する学校（案）

港中学校

➤ 通学距離、キャパシティ、校舎の築年数等を総合的に判断。

➤ 現状の人数、選択制による希望も多い。

2 統合時期

最短で「令和9年4月」

10

中学校の再編スケジュール（案）



（中教策・中教） 案合総の対学中

3 港区における 小学校の現状と課題及び再編案について



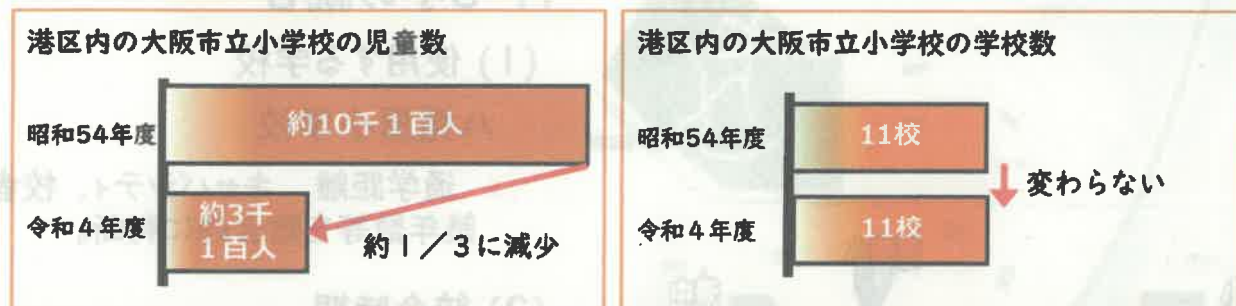
議和合議 S

1月4日午後1時～1時30分

港区における小学校の現状

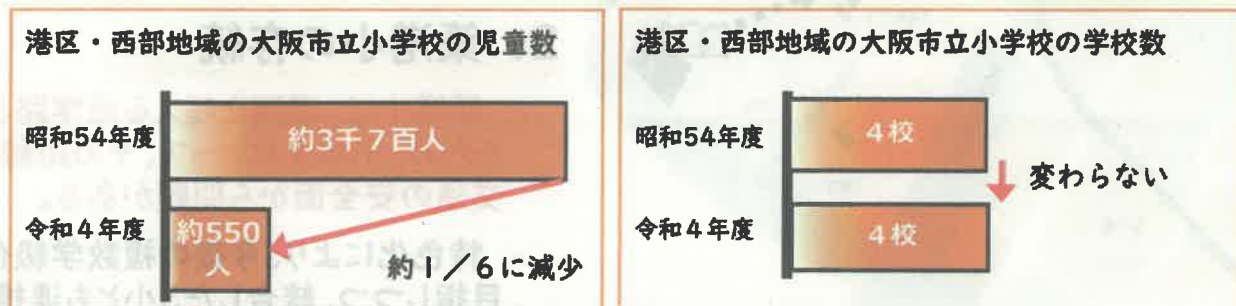


1. 港区全体の状況



➤ 小学校の小規模化が大阪市の平均よりさらに進行しています。

2. 港区・西部地域（八幡屋小・港晴小・池島小・築港小）の状況



➤ 大阪市、港区全体よりも児童数が減少しており、小学校の小規模化がさらに進行しています。

13

港区・西部地域の小学校の児童数



<令和5年5月1日現在>

	八幡屋小			港晴小			池島小			築港小		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
6年生	30	16	14	27	15	12	12	3	9	25	10	15
5年生	27	19	8	31	21	10	21	12	9	18	8	10
4年生	27	14	13	19	8	11	19	13	6	18	8	10
3年生	26	10	16	28	14	14	14	10	4	19	8	11
2年生	30	20	10	17	9	8	12	6	6	19	13	6
1年生	29	16	13	33	17	16	9	8	1	22	14	8
計	169	95	74	155	84	71	87	52	34	121	61	60

児童数の減は、男女別に見ると、さらに深刻な状況にある。

14

小学校の統合案（八幡屋・港晴・池島）



1. 3小の統合

(1) 使用する学校

八幡屋小学校

- 通学距離、キャパシティ、校舎の築年数等を総合的に判断。

(2) 統合時期

最短で「令和11年4月」

2. 築港小の存続

- 築港小は、運河を超える通学路となるため、小学生にとって、その距離と交通の安全面から問題がある。
- 特色化により、今後の複数学級化を目指しつつ、統合した3小とも連携しながら教育環境を充実させる。

15

八幡屋小の使用（案）



◎ 校舎の増築等により、早くとも令和11年度になる。



STEP1「運動場の一部に校舎を増築する案」

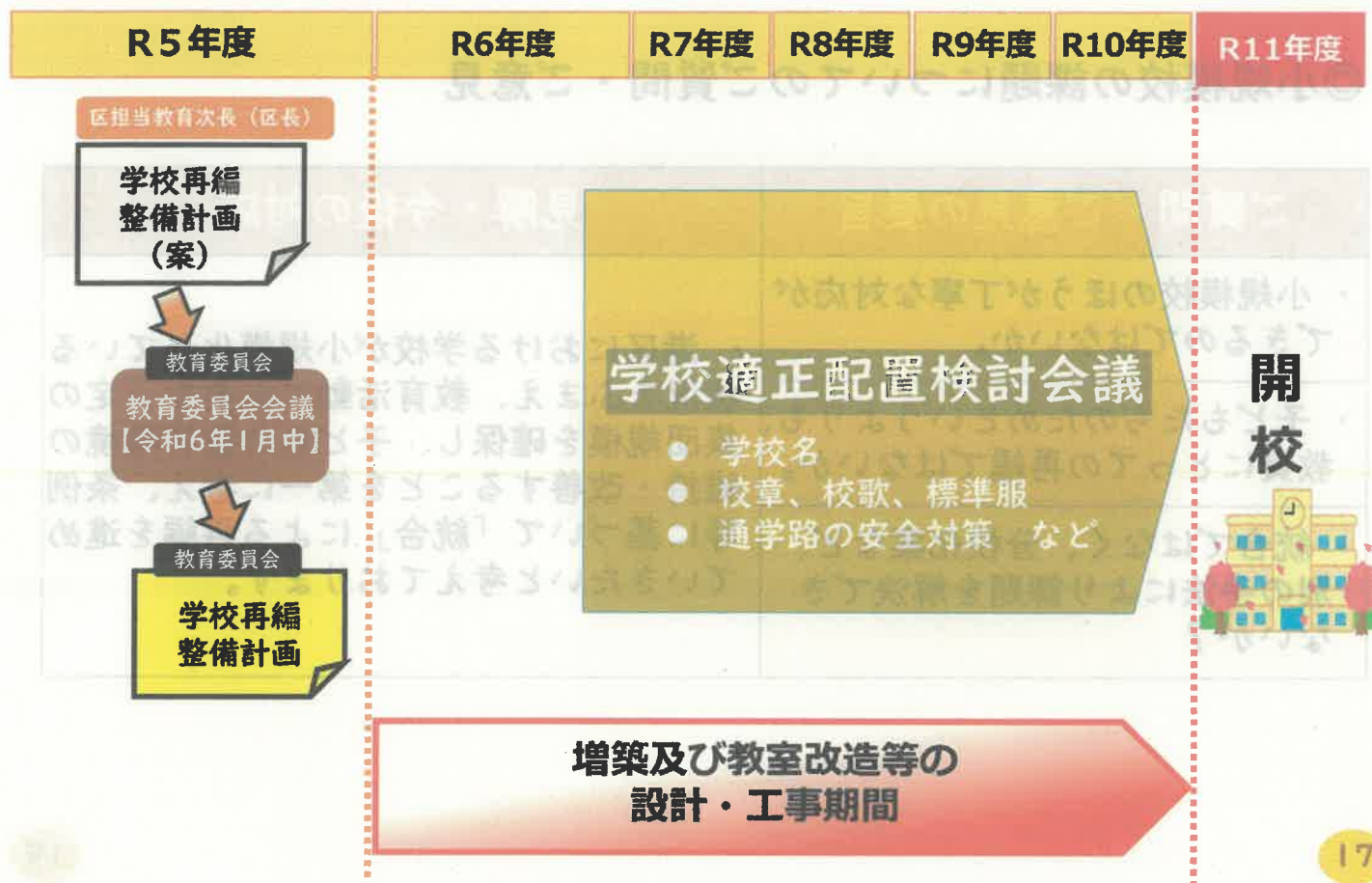
- 昔は児童数が多かったのに、計算上は入るが、現在、40人学級から35人学級に変わったこと、また、特別支援学級も増えていることから、増築が必要。

STEP2

今後、築港小の小規模化が進行した場合は、さらなる統合を再検討する。

16

小学校の再編スケジュール（案）



17

4 説明会等でいただいたご質問・ご意見に対する回答



- 次ページ以降は、説明会等でいただいた主なご質問・ご意見及び回答の要旨を、簡約、分類してご紹介します。
- 詳細は、区ホームページにPDF資料で掲載しております。



18



◎小規模校の課題についてのご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 小規模校のほうが丁寧な対応ができるのではないかな。 ・ 子どもたちのためというよりも、教員にとっての再編ではないかな。 ・ 統合ではなく、分校化案など、別の手法により課題を解決できないかな？	・ 港区における学校が小規模化している状況をふまえ、教育活動に必要な一定の集団規模を確保し、子どもの教育環境の維持・改善することを第一に考え、条例等に基づいて「統合」による再編を進めていきたいと考えております。

19

【参考】前回の説明会等資料： 小規模校の利点と課題



◎児童の学習環境の観点

利 点	● <u>学校としてまとまりやすい。</u> ▶ 一人一人に目が行き届きやすい。 ● <u>一人一人の学習状況を把握し、個別指導を含めたきめ細やかな指導が行いやすい。</u>
課 題	● <u>教育活動の幅が狭くなる。</u> ▶ 音楽の合唱や、体育の集団競技などは困難な場合もある。 ● <u>互いに切磋琢磨する機会が少なくなる。</u> ▶ 運動会でのリレー、ドッジボール等の球技大会などにおいて、クラス対抗ができない。授業の中で多様な発言が引き出しにくくなる。 ● <u>クラス替えができないことから、人間関係が固定化する傾向にある。</u> ● <u>教職員数も少なくなり、学年運営に関して同学年担当教員による学年共通の指導方法の高め合いができない。</u>

＜新たな学習指導要領の全面実施（令和2年度）より、授業改善に向けた視点＞

- ◆ 子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める
- ◆ 何ができるようになるかを明確にした社会に開かれた教育課程の編制

子どもたちが多様な人間関係を構築する環境を意図的に創出すること、また、教科横断的なカリキュラムの検討や一部教科担任制の導入が可能な教職員組織の構築が必要。

20



◎条例や国の方針等に対してのご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 小学校には学校の適正規模に関して条例があるが、中学校は、条例が未だできていない中、進める理由は何か？ ・ 築港中を残してほしいという意見は聞き入れてもらえないのか。 ・ 港区西部地域だけの問題でなく、中部地区も含めた視点で、持続可能なように検討してほしい。 ・ 説明会の内容が既に決定しているように感じる。説明会で聴いた意見を反映してほしい。池島小の統合は反対。	・ 学校の適正規模を確保する取組は、国における方針でもあり、大阪市においても、中学校に条例がないことをもって適正配置ができないというものではなく、これまでも、必要に応じて中学校の統合を行っております。 ・ 築港中をはじめ、今回ご提案している学校については、まずはクラス替えができる環境を作ることが必要と考えております。 ・ 大阪市全体、港区全体で児童生徒数の減少が続いており、先を見据えた検討を行う必要があると考えております。

◎通学距離等の課題に対してのご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 運河を超える通学路の安全に関して懸念がある。 ・ 通学距離が延びるのであれば、自転車通学を検討してほしい。(中学校) ・ 通学距離が近いから、家を選んでいることを考えてほしい。	・ 通学距離等の課題を軽減する通学方法(中学校)については、安全性の観点なども十分にふまえ、関係先と検討のうえ、お示ししてまいります。

21

【参考】条例や国の方針等



<文部科学省の手引き(抜粋)>

- 学校教育においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要であり、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい。
- 中学校についても、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上(6学級以上)が必要となります。
また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいものと考えられます。

<大阪市の条例等>

- 令和2年4月に大阪市立学校活性化条例を改正施行。
(小学校の学校規模:12学級から24学級にするよう努めること)
- 通学距離に関しては、大阪市立小学校の適正規模の確保に関する規則のほか、児童生徒に対する公共交通機関利用に係る無料乗車証交付要綱に定めている。
(通学距離:小学校2 km、中学校3km)

22

前回の説明会等でいただいたご質問・ご意見に対する回答



見意ご・問質ごのてし校中等様式の圖や図案◎

◎小中一貫校等に関するご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 築港中学校を特色化して残してほしい。	・ 全国的な少子化の状況や、現在大阪市に設置されている小中一貫校の状況をふまえると、築港地域において小中一貫校を設置し、他地域から児童生徒を集めることで適正規模を確保することは困難であると判断いたしました。
・ 小中一貫校を再検討してほしい。	
・ 水都国際中学校のような一貫校にしてほしい。	

23

【参考】前回の説明会等資料：大阪市立中学校における小規模の順

<令和4年5月現在>



(普通学級 > 生徒数の少ない順)

※夜間中学および郊外校(大阪市外)を除く。

小規模の順	区分	学校名	普通学級				生徒数			
			1年	2年	3年	合計	合計	1年	2年	3年
1	港	築港	1	1	1	3	58	15	23	20
2	東住吉	矢田南【やたなか小中一貫】	1	1	1	3	88	18	32	38
3	東住吉	矢田西	1	1	1	3	104	39	25	40
4	西成	鶴見橋	1	1	1	3	114	40	41	33
5	西成	梅南	1	2	2	5	143	42	46	55
6	中央	南	1	2	2	5	158	43	61	54
7	平野	長吉六反	1	2	2	5	159	44	64	51
8	住之江	南港南【みなみ小中一貫】	1	2	2	5	195	44	75	76
9~23	生野	新箕 外14校	2	2	2	6	209 など	59	70	80
24~27	港	港 外3校	2	2	3	7	253 など	79	74	100
28~34	阿倍野	松虫 外6校	3	2	3	8	276 など	97	84	95
35~56	港	市岡東 外21校	3	3	3	9	307 など	111	107	89
57~68	東成	東陽 外11校	4	3	4	10~11	391 など	129	122	140
69~82	港	港南 外13校	4	4	4	12	425 など	150	140	135
83~94	淀川	官原 外11校	4	4	5	13~14	503 など	155	156	192
95~105	港	市岡 外10校	5	5	5	15	582 など	192	194	196
106~111	淀川	新北野 外5校	5	5	6	16~17	631 など	194	210	227
112~115	東淀川	新東淀 外3校	6	6	6	18	674 など	218	229	227
116~125	西	堀江 外9校	7	6	6	19~	771 など	274	250	247

築港中は、通常の中学校で最小規模

【小中一貫校の前例】
➤ 小規模校が解消されていない。

24



◎ 学校選択制に関するご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 学校選択制が小規模化の原因ではないか。 ・ 学校選択制がない場合のシミュレーションを教えてください。	・ 当該校については、いずれも学校選択制実施の有無にかかわらず、小規模化が進行しており、教育環境の改善が必要と考えております。 ・ 学校選択制がなかった場合のシミュレーションについては、公表可能な情報の範囲内でお示ししてまいります。

25

【参考】前回の説明会等資料：学校選択制の検証結果



1 学校選択制にかかる検証報告書（令和5年3月大阪市教育局委員会まとめ）

◆学校選択制検証のためのアンケート概要

- 実施年度：令和2・3年度
- 対象者：保護者、地域団体関係者（小・中学校の学校協議会委員）、小学校長・中学校長

◆「学校選択制は良い制度だと思うかどうか」

○ 保護者

- ・ 「良い制度だと思う」……約7割
- ・ 「どちらでもない」……約2割
- ・ 「良い制度だと思わない」……約1割

○ 地域団体

- ・ 「良い制度だと思う」……約5割
- ・ 「どちらでもない」……約2割
- ・ 「良い制度だと思わない」……約3割

<検証のまとめ（抜粋）>

- 学校選択制については、多くの保護者から良い制度であると評価されており、今後とも制度実施が必要であると考えます。
- 現状のニーズを踏まえ、選択制により救われている人など一定数いること、児童生徒や保護者に学校を選択する権利があることを考慮する必要。

26

【参考】選択制及び私学進学等がない場合のシミュレーション（中学校）



※ 選択制のほか、私学、特別支援学校への進学、転居等も含まれます。

◎ 住民基本台帳人口（令和5年3月31日現在）による各校区の居住者数（年齢別）

<大阪市ホームページより https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000006893.html#05_03>

3月末年齢 (4月の学年)	港中			築港中			合計
	八幡屋小 (八幡屋1～4丁目)	池島小 (池島1～3丁目)	小計	港晴小 (港晴1～5丁目)	築港小 (築港1～4丁目等)	小計	
14歳（中3）	22	33	55	35	25	60	115
13歳（中2）	34	33	67	30	24	54	121
12歳（中1）	32	26	58	43	25	68	126
11歳	26	23	49	34	25	59	108
10歳	23	30	53	39	19	58	111
9歳	28	26	54	20	18	38	92
8歳	27	30	57	29	23	52	109

27

【参考】選択制及び私学進学等がない場合のシミュレーション（小学校）



※ 選択制のほか、私学、特別支援学校への進学、転居等も含まれます。

◎ 住民基本台帳人口（令和5年3月31日現在）による各校区の居住者数（年齢別）

<大阪市ホームページより https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000006893.html#05_03>

3月末年齢 (4月の学年)	八幡屋小	港晴小	池島小	3小合計	築港小
	八幡屋1～4丁目	港晴1～5丁目	池島1～3丁目		築港1～4丁目等
11歳（6年）	26	34	23	83	25
10歳（5年）	23	39	30	92	19
9歳（4年）	28	20	26	74	18
8歳（3年）	27	29	30	86	23
7歳（2年）	23	29	28	80	21
6歳（1年）	25	38	25	88	26
5歳	23	32	27	82	27
4歳	25	28	27	80	35
3歳	37	39	16	92	43
2歳	22	18	19	59	30
1歳	21	29	9	59	37
0歳	21	19	16	56	49

28



◎ 跡地活用に関するご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 跡地活用について、具体的に示してもらわないと築港地域としては議論できない。	・ 築港地域における避難所の確保を前提とし、まずはこどもたちの教育環境の改善を考える必要があります。今回そのための案をお示ししています。
・ 防災の問題が解決しない限り、統合の話は受け入れられない。築港中は避難所の役割を果たしている。築港地域は避難所の確保状況は74%である。	・ 跡地活用については、先行している区の事例も参考に、検討会議等を立ち上げ、進めてまいりたいと考えております。その際は、生野区の跡地活用の具体例もお示ししてまいります。
・ 学校を社会教育や防災の拠点として活用していることについて十分検討しているのか？	
・ 小学校は災害時の避難所であることを重視して取り組んでほしい。	

29

【参考】学校跡地の活用（生野区の事例紹介）



学校跡地は、基本的には売却せずに残すことを前提に検討します。活用にあたっては、

- 災害時避難所などの防災拠点機能としての必要性
- 貸付期間中、既存校舎等を安全に利用できること（校舎の築年数等）などを踏まえ、検討していきます。

【事例①】御幸森小学校跡地： いくのコーライブズパーク（複合施設）

【事例②】林寺小学校跡地： インターナショナルスクール

【事例③】生野小学校跡地： インターナショナルスクール

【事例④】生野南小学校跡地： 専門学校⇒通信制高校／日本語学校

くわしくは、別紙参照



引用元: <https://www.facebook.com/ikunotabunkafiat>



引用元: <https://abroadschools.jp/osaka/>



引用元: <https://owis.org/jp/ja/>



引用元: 活用事業者による提案資料
<https://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/page/0000582417.html>

30

前回の説明会等でいただいたご質問・ご意見に対する回答



◎まちづくりに関するご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 学校再編の前にまちづくりをしてほしい。 ・ 学校や病院があるところを子育て世帯は選ぶ。	・ マンションの建て替え等には、長い年月を要する中で、築港中学校の1年生が20人を切っている状態で、それが何年も続くことは避けなければならないと考えております。 ・ まちづくりの方向性・取組みや、跡地活用によるまちづくりについては、お示ししてまいります。
・ 築港地域に子育て支援施設が少ない。	
・ 天保山の運河を埋め立てるなど、斬新な考え方でまちづくりをしてほしい。	
・ みなと中央病院の跡地にマンションを早く建てて、子育て世帯を増やしてほしい。	
・ 天保山第5コーポの建て替え予定はどうか？子育て世帯が増える見込みがあるのではないかな。	

◎市営住宅の建て替え等に関するご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 市営住宅の建て替えにあたって、ファミリー世帯が入れるよう働きかけしてほしい。	・ この間、たくさんの方からご意見を頂いており、区としても、まちづくりの観点から要望として伝えているところです。今後、担当部署にも協力や説明を求めてまいります。

31

【参考】学校再編とまちづくりの方向性



小規模校の教育環境を改善することは、喫緊の課題であり、国や大阪市の方針に基づいて、まちの活性化と同時に進めていく必要があります。

まちづくりの方向性については、

- 「港区まちづくりビジョン」（令和5年4月一部改定）
- 「港区エリア別活性化プラン」（令和3年4月策定）
- 「築港・天保山まちづくり計画」（平成30年3月策定）

を基盤として、大阪・関西万博、IRの開業といった好機を捉え、アップデートを図りながら、取組みを推進してまいります。



くわしくは、港区ホームページ等で情報発信してまいります。



32

前回の説明会等でいただいたご質問・ご意見に対する回答



◎中学3年生への配慮等に関するご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 中3の受験時期に統廃合にあたる子どもたちへの配慮はあるのか？	・ 受験期に統合を迎える生徒への配慮として、環境の変化による負担を軽減できるよう、教員等の加配や事前交流等による対応を検討してまいります。 ・ 進路関係についても、不安感を軽減できるよう、丁寧な対策を検討してまいります。

◎再編によるインセンティブに関するご質問・ご意見

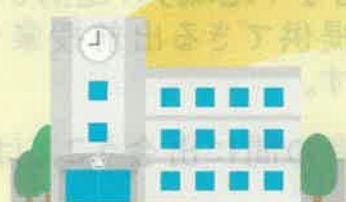
ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 再編インセンティブとは何か？ ・ 再編によらずとも魅力化に取り組んでほしい。	・ 再編によるインセンティブとは、学校再編により削減された経費を、再編後の新しい学校の教育のために活用する仕組みのことです。 ・ 現在も、各学校で様々な魅力化に取り組んでいただいておりますが、小規模化が進行している学校に対しては、適正規模を確保する取り組みが必要と考えております。

33

【参考】前回の説明会等資料：再編後の学校の魅力化案（中学校）



統合後の学校では・・・ 再編インセンティブの活用



築港中学校



港中学校



教員やスクールカウンセラーの加配
（※必須）



たとえば、英語・外国語の授業の充実

たとえば、部活動・スポーツ推進・強化校



たとえば、ICT教育の推進・強化校



たとえば、キャリア教育の推進



たとえば、校庭や図書館
などの環境整備

（※注）建物等のイラストは、あくまでイメージであり、実際の景観とは異なります。

34

【参考】前回の説明会等資料：再編後の学校の魅力化案（小学校）



統合後の学校では・・・ 再編インセンティブの活用



教員やスクールカウンセラーの加配
（※必須）



たとえば、キャリア教育の推進



たとえば、ICT教育の推進・強化校

ABC

たとえば、英語・外国語の授業の充実

単独で残る学校では……



築港小学校

たとえば、外国人の居住が増えているエリアとして英語教育やICT教育等の特色化に取り組む。

まちの活性化とともに、
学校の魅力化で、地域の
子育て世帯の増加をめざす。

（※注）建物等のイラストは、あくまでイメージであり、実際の景観とは異なります。

35

【参考】前回の説明会等資料：「OSAKAみなと未来教育ネットワーク」



港区では「港区まちづくりビジョン」（令和5年4月一部改訂）の5つの柱の一つとして、「『まちぐるみで子育て』と『多様な学び』を応援するまちづくり」を掲げています。

港区内の大阪市立小学校・中学校の育ちや学びを「産官学+地域」の連携したネットワークを開設することで、それぞれの企業・団体が提供できる出前授業や職業体験・教材等の提供や多忙な学校現場の支援を図ります。

特に「多様な働き方、多様な大人のモデル」に義務教育の間に出会うことは、こどもたちの将来の可能性を広げます。



詳しくはホームページに掲載しています。
<https://www.city.osaka.lg.jp/minato/page/0000597931.html>



36

前回の説明会等でいただいたご質問・ご意見に対する回答



◎ジュニア防災リーダーに関するご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 中学校が地域からなくなれば、ジュニア防災リーダーはどうになってしまうのか。	・ 通学する中学で学んだ防災スキルを自分の地域で発揮できるよう、区役所も中学校と連携して取り組みを継続します。

◎学校適正配置検討会議に関するご質問・ご意見

ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 統合後の校名は変更されるのか？	・ 学校適正配置検討会議における検討事項となります。
・ 通学距離が延びるのであれば、暑くない制服の改善も検討してほしい。	

◎制服等に関するご質問・ご意見

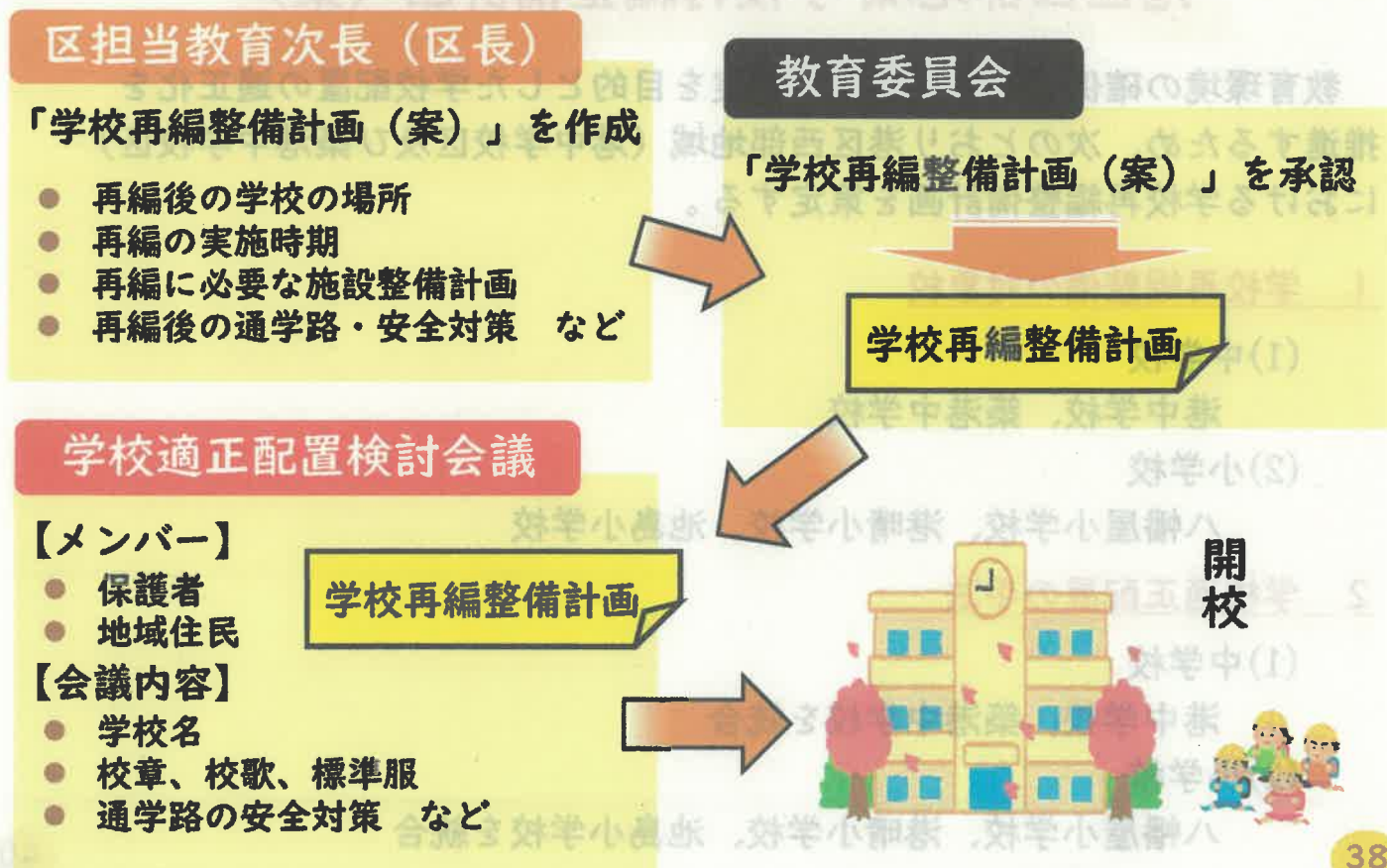
ご質問・ご意見の要旨	見解・今後の対応
・ 統合後の制服にかかる費用はどうなるのか？	・ 再編により、制服が変更となる場合、大阪市の費用負担のもと、制服を貸与することとなります。詳細は学校適正配置検討会議における検討事項となります。

37

【参考】前回の説明会等資料：再編に向けたステップ



◎「大阪市立学校活性化条例」の手続きに沿った進め方



38

5 港区西部地域学校再編整備計画案について



意見・質問を記入し、お送りください。お送り先は、〒100-8302 東京都千代田区千代田1-1-1 千代田市役所 総務課 庶務係

39

学校再編整備計画案の記載内容について 1/3



港区西部地域 学校再編整備計画（案）

教育環境の確保及び教育活動の充実を目的とした学校配置の適正化を推進するため、次のとおり港区西部地域（港中学校区及び築港中学校区）における学校再編整備計画を策定する。

1 学校再編整備の対象校

(1) 中学校

港中学校、築港中学校

(2) 小学校

八幡屋小学校、港晴小学校、池島小学校

2 学校適正配置の手法

(1) 中学校

港中学校、築港中学校を統合

(2) 小学校

八幡屋小学校、港晴小学校、池島小学校を統合

40



3 学校適正配置の時期（予定）

(1)中学校

- ・令和9年4月（港中学校の施設整備完了後）

(2)小学校

- ・令和11年4月（八幡屋小学校の施設整備完了後）

4 活用する学校施設及び改修等の計画

(1)中学校

- ・港中学校の校地（大阪市港区池島1丁目）
- ・既存校舎を活用（教室改造等を含む）

(2)小学校

- ・八幡屋小学校の校地（大阪市港区八幡屋3丁目）
- ・校舎等の増築及び既存校舎を活用（教室改造等を含む）

5 適正配置対象校等の学級数及び児童生徒数の推移並びに学校再編整備後の見込み

- 別紙のとおり（47ページ以降等の人数を掲載）

41



6 学校再編整備後の通学路と安全対策等

- ・通学路等(案)については、別紙※1のとおり（※1；今後、区役所と学校長が検討）
- ・通学路において、児童が安全・安心に登下校できるよう、警察や道路管理者とも連携し、安全対策を実施する。
- ・築港地域から港中学校への通学にあたっては、運河を超える必要があることから、安全確保や負担軽減のための対策について、「学校適正配置検討会議」において、意見等を聴取した上で、必要な対策※2を検討する。
（※2；今後、区役所と教育委員会事務局が検討）

7 その他（統合前後の学校運営等について）

- ・統合を円滑に進めるため、合同行事などを通じて児童生徒、教員の相互交流を図るとともに、教員間において、統合後の学校における教育方針や教育内容について話し合うなど、各学校間の連携を強化していく。
- ・各学校においてこれまで培ってきた取組、文化等を統合後の学校に継承、発展させていく。

42

6【参考】通学路（案）及び 児童生徒数の今後の推移等

(目て1島版習茶市湖大) 対対の対学中案

(は含ま等並対室焼) 用計ま舎対赤羽別



(目てE島制ハ習茶市湖大) 対対の対学小島制ハ・

(は含ま等並対室焼) 用計ま舎対赤羽別ハ島版の参考対・

お前草園出対笑コリ並対前の焼茶主重泉ハ島版対笑の表対案は置置玉新

(焼茶主重泉の参考以マシーナ) リまの湖版 <

小学校再編後の通学路（案）＜八幡屋小周辺のアクセス＞



通学路については、学校再編整備計画策定後に設置する「学校適正配置検討会議」において、意見聴取のうえ、より安全なルートを選択するとともに、必要な対策等を実施する。

【参考】築港小校区から港中学校までの通学経路（案）＜遠い距離の例＞



通学路については、学校再編整備計画策定後に設置する「学校適正配置検討会議」において、意見聴取のうえ、より安全なルートを選択するとともに、必要な対策等を実施する。



45

【参考】築港小校区から港中学校までの通学経路（案）＜近い距離の例＞



通学路については、学校再編整備計画策定後に設置する「学校適正配置検討会議」において、意見聴取のうえ、より安全なルートを選択するとともに、必要な対策等を実施する。



46

中学校の統合案（生徒数・学級数の見込み）



<港中・築港中の統合シミュレーション>

	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
3年生	94	3	98	3	83	3	86	3
2年生	98	3	83	3	86	3	79	2
1年生	83	3	86	3	79	2	91	3
合計	275	9	267	9	248	8	256	8

※本推計は、暫定値（令和5年5月現在未定稿）

47

小学校の統合案（児童数・学級数の見込み）



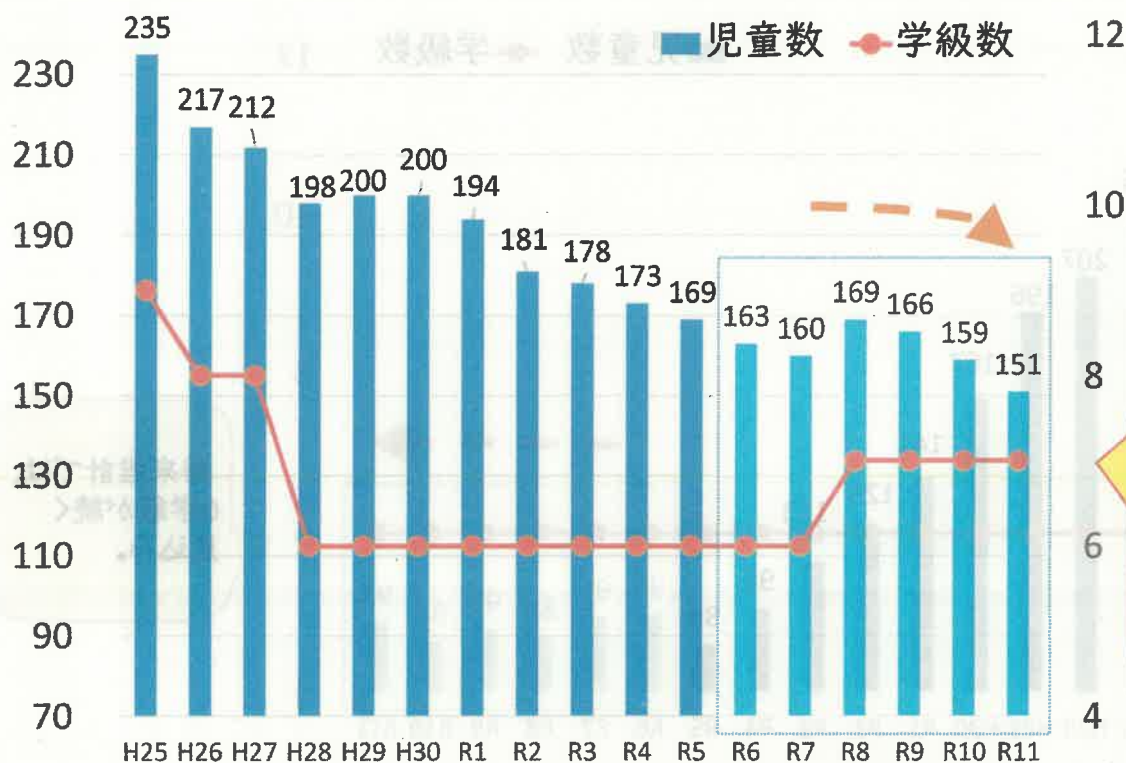
<3小統合（八幡屋・港晴・池島）シミュレーション>

	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
6年生	68	2	60	2	70	2	75	3
5年生	60	2	70	2	75	3	71	3
4年生	70	2	75	3	71	3	82	3
3年生	75	3	71	3	82	3	54	2
2年生	71	3	82	3	54	2	52	2
1年生	83	3	54	2	52	2	50	2
合計	427	15	412	15	404	15	384	15

※本推計は、暫定値（令和5年5月現在未定稿）

48

児童数の推移 ～八幡屋小学校～



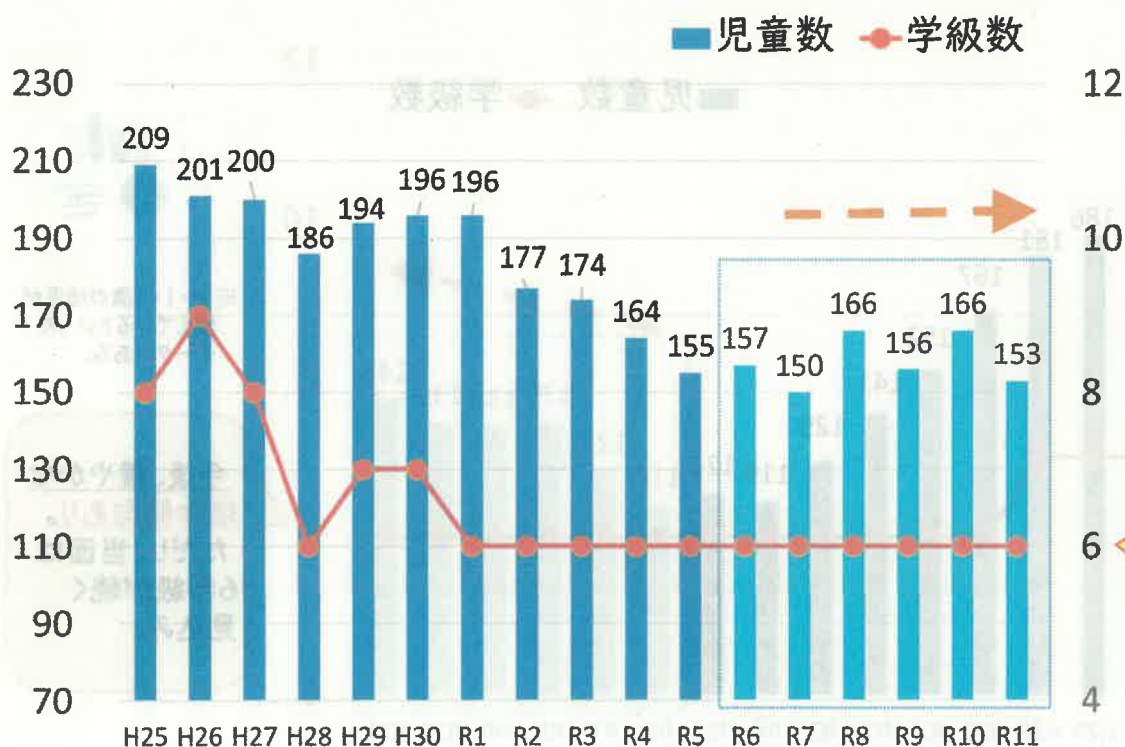
将来推計では、R8の新入の学年が35～37名と予測し、7学級で推移する見込。

※各年5月1日現在の児童数・学級数

※推計(R6～R11)は暫定値(R5年5月現在未定稿)

49

児童数の推移 ～港晴小学校～



将来推計では、6学級が続く見込み。

※各年5月1日現在の児童数・学級数

※推計(R6～R11)は暫定値(R5年5月現在未定稿)

50

児童数の推移 ～池島小学校～



将来推計では、
6学級が続く
見込み。

※各年5月1日現在の児童数・学級数

※推計(R6～R11)は暫定値(R5年5月現在未定稿)

51

児童数の推移 ～築港小学校～



※0・1・2歳の幼児が
増えているといった
データがある。

今後、緩やかな
増加傾向あり。
ただし、当面は
6学級が続く
見込み。

※各年5月1日現在の児童数・学級数

※推計(R6～R11)は暫定値(R5年5月現在未定稿)

52



<担 当> 港区役所 協働まちづくり推進課
(教育・人権啓発グループ)

<電 話> 06-6576-9975

<メール> minato-edu@city.osaka.lg.jp



<ホームページ>

<https://www.city.osaka.lg.jp/minato/page/0000607116.html>

港区における学校再編に向けた取組み及び
検討状況について



